様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	村上体育館　他10施設	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	NPO法人総合型スポーツクラブウェルネスむらかみ	所管課	生涯学習　　課
指定期間	令和４年４月１日～令和９年３月31日（５年間）	評価者（課長）	平山　祐子

１　令和７年度の実績

（1）事業実績

利用実績	利用者数（11施設）：51,170人、スポーツ事業：19事業実施（参加者数 6,824人）
サービス向上の取組	①専門的な知識を有する職員（有資格者）を配置し、ソフト・ハードの両側面から高品質かつ効果的なサービスの提供する。 ②利用者からの意見聴取により、問題点の把握に努め、積極的に業務に取り入れる。 ③ホームページ・電子メール・SNSの活用により、利用者への情報提供の迅速化を図る。

（2）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	39,195	38,977	39,587	117,759	基本協定額：　198,178　千円
	利用料金	1,077	1,124	1,127	3,328	
	事業収入	1,509	1,491	1,601	4,601	
	自主事業収入	685	559	626	1,870	
	その他	141	257	199	597	
	収入合計　①	42,607	42,408	43,140	128,155	
支出	人件費	16,640	16,676	17,620	50,936	
	福利厚生費	2,546	2,546	2,547	7,639	
	事務費	3,033	2,855	2,729	8,617	
	管理費	15,465	15,483	15,378	46,326	
	水道光熱費	3,568	3,455	3,382	10,405	
	修繕料	1,793	1,318	1,407	4,518	
	使用料・リース料	2,639	2,699	2,743	8,081	
	手数料・保険料	220	212	202	634	
	委託料	7,245	7,799	7,644	22,688	
	事業費	965	979	988	2,932	
	自主事業経費	685	559	626	1,870	
	その他	2,839	3,133	3,208	9,180	
	支出合計　②	42,173	42,231	43,096	127,500	
収支差額（①－②）		434	177	44	655	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

3　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

・昨今の急激な最低賃金の引き上げ、物価の高騰により、経費の執行について、厳しい状況になっている。特に、臨時職員賃金や委託料の執行において影響を及ぼしている。
・岩船運動広場外周フェンスについては、冬期間の強風の影響により著しく破損している。過去には1～2スパンの取り替えを実施していたが、近年は破損箇所が広範囲になっているため、部分的に複数個所の補修を実施している。
・岩船運動広場の松枯れが、施設内全域に広がっているが、伐採費用が高額となるため、指定管理者の裁量では対応することができない。
・山辺里体育館の外壁については、平成30年度以降、強風時の破損が多発し、老朽化が著しい状況になっている。また、それに伴い、経費も圧迫している。

（2）課題解決に向けた取組

・業務の実施においては、常に経費の削減を念頭に置き、優先度などを考慮した上で、計画的に進めている。また、状況によっては、年度当初に作成した業務計画や予算書の見直しを適切に実施し、予算の範囲内での経費の適正な執行に繋げている。
・岩船運動広場の外周フェンスについては、1スパンずつの取り替えを基本とするが、破損箇所の範囲によっては、部分部分の補修を検討する。但し、改修に係る費用が高額になり指定管理料（修繕費）では、対応が困難な場合は、市に対して予算要望し、改修を進めていただく必要がある。
・岩船運動広場の松の木については、令和7年度にソフトボール場側の12本を市に伐採していただいた。但し、松枯れの被害は、施設内全域に広がっているため、被害の状況から実施すべき区画を選定し、2～3年をかけて計画的に伐採していただく必要がある。
なお、令和8年度については、施設入口～管理棟部分の松の木（10本）の伐採を要望している。
・令和7年度、山辺里体育館の定期利用団体に対して、体育館利用における個別調査を実施した。調査の中で、併設の村上農村環境改善センターに代行員が配置されていることが魅力的であると答えた団体が多かったが、その反面、施設の老朽化に伴う代替施設の利用については、安全面から考えるとしかたがないという回答が主だった。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

・常に窓口での意見聴取や問題把握に努め、積極的に業務に取り入れ、迅速に対応している。
・村上体育館管理ギャラリーの暗幕については、利用者アンケートなどで度々修繕を要望され、対応を実施しているが、経年劣化により生地が弱り、対応実施後すぐに不具合の発生する事態が発生しているため、上段と下段に分けて暗幕を取り替える対応を実施した。
・夏場の暑い時期は、必ず窓開けを実施してほしいという要望に対しては、６月～10月まで必ず窓開けを実施した他、山辺里体育館については、熱中症対策として、扇風機２台を新規に設置した。
・小雪の年は、屋外施設の利用を３月からにしてもらいたいという要望に対しては、所管課に承認を得た後、令和８年３月７日から村上多目的グラウンド・岩船運動広場の施設の運用を開始した。

②その他

4　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

・社会体育施設全体での利用者数は、昨年度の実績と比べ、7,727人減少したが、利用件数については、162件の増加となった。また、利用料金については、予算に対し、172,614円の増加となった。
・修繕料については、山辺里体育館の外壁が強風により破損するなどの自然災害もあり、予算に対して58,951円の増額となった。但し、その反面、年間で44件の修繕のうち、33件を職員による自主修繕で対応するなど経費の縮減にも取り組んでいる。
・特定の団体に利用が集中しないように適宜、利用調整を実施し、利用の公平を図っている。また、施設利用の情報の提供については、概ね、ホームページやLINE公式アカウントを活用しているが、状況に応じて、紙媒体で情報提供しているなど、利用者に合わせた柔軟な対応も実施している。
利用者へのサービスの提供及び管理施設の有効活用に繋げるために独自のノウハウを生かし、ニーズにあったスポーツ関連事業を実施している。令和7年度については、予定していなかった国政選挙があり、多少日程変更などもあったが、概ね計画通りに実施できた。
その中で、参加率向上の取組として、猛暑の際の冷房が完備されている会場変更・幅広い世代のニーズにあわせた運動メニューの提供など柔軟に対応した結果、今まで参加が少なかった働き世代が夜の事業などに参加する傾向がみられた。
また、子どもの事業は、特に人気が高く申し込み開始後すぐに定員になる教室もあり、高齢者についても教室を楽しみに参加する人も多く、健康づくりにも繋がっていると感じている。

（2）施設所管課の評価

施設、備品の不具合の早期発見・予防保全に繋げるために、定期巡回の点検を実施し、良好な施設環境を維持していることは評価できる。
利用者に対して公平な予約管理を実施して、利用の促進に繋げている。利用者アンケート調査の中で、施設管理運営について概ね満足している方が多いことは指定管理者と利用者間に良好な関係が築かれていると評価できる。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

引き続き、適切な施設管理と利用者へのサービス向上に努めていただきたい。
若年層や働く世代の層に対して、施設利用や教室参加を促す取組を期待する。
更なる収入確保と経費節減に努めていただき、適正な施設管理・運営に努めていただきたい。